

民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第53号 平成30年 秋号



共に喜び笑顔で交流

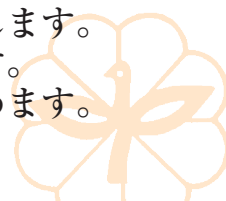
赤小金管バンド 関西フェスティバルで金賞 NHKの取材を受けて



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会



民生委員児童委員 各地区活動報告

御崎地区「ふれあい敬老会」

9月16日、御崎小学校体育館において、ふれあい敬老会が開催され、対象者599名中179名の方が参加されました。

御崎小学校金管バンドクラブの演奏で始まり御崎保育所の子どもたちによる和太鼓、御崎幼稚園の園児の歌と踊り、公民館サークルの3B体操・フラダンス・コーラスなどが会に花を添えました。ラストは、毎年会を盛り上げているお楽しみ抽選会で締めくくられました。

アトラクションや抽選会の協賛を含め、すべて御崎地域の方の協力で無事に開催することができました。



赤穂地区「敬老会」

赤穂地区まちづくり連絡協議会では、各自治会単位で「敬老会」を行いました。その内の山手町自治会は9月9日（日）に山手集会所で対象敬老者129名のうち29名が参加されました。

案内状に「ありがとう、人生の大先輩」と表記し、自治会役員、民生委員、地域福祉推進委員でおもてなしをしました。歌謡ショー、ビンゴゲームで楽しみ、その後、美味しい食事をしながら懇親を深めて頂きました。最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



坂越地区「ふれあい敬老会」

坂越地区の敬老会は9月17日に開催されました。

砂子自治会は対象の方へのご案内、演出、会場準備などすべてを自治会役員と班長によって行っています。民生委員は来賓として案内があり、乾杯の音頭を取るのが役割となっています。

開会の挨拶から乾杯の食事時の賑やかなこと。一段落したところでカラオケが始まります。のどに自信がある人達が、マイクを握って歌いだし、尺八演奏で「六甲おろし」や歌謡曲、全員で「故郷」などを合唱し、全員の記念写真を撮って「来年もお元気で会いましょう」と締めくくりました。



城西地区「地区から届ける敬老のこころ」

城西地区の敬老会は、各自治会単位で開催されました。児童の合唱やプレゼントでは全員笑顔に、ビンゴゲームや健康体操ではワーワーカーカーと賑やか、カラオケではプロ並みの歌唱力、「おやじジャズバンド」では全身でリズムを取り、歌の弾き語りでは懐かしい歌の合唱と、各自治会とも楽しくころ安らぐ一日を過ごしました。これからも協力しながら地域福祉のために頑張っていきたいと思っています。



高雄地区「おたがいさまの心で」

高雄地区地域福祉推進連絡会は総勢18名と市内で一番少人数ですが、チームワークは抜群で、地域の見守り隊として、最近特に多発している災害時における支援を必要とされている方への安否確認、一人暮らし老人や高齢者夫婦世帯等への給食サービス、友愛訪問、敬老会でのお手伝い等様々な支援を一致団結して、きめ細やかな活動を行っています。

私たちは、たすけあう かかわりあう おもいあう の精神で人と人とのつながりを大切に、今日も高雄地区でがんばっています。



塩屋地区「学校園のふれあい美化活動への参加協力」

塩屋地区委員会では、個々の見守り活動の他に、8年前より学校園の美化活動（草刈りや樹木剪定等）に協力参加しています。

今回は8月25日（土）に、塩屋小学校の藤棚の枝打ちや下草の刈り取りを行いました。折りしも、台風20号の去った後で、むし暑さも頂点に達した日、流れる汗をものともせず、伸び放題の枝を切り、周囲の樹々の枝を打って、草を刈り藤棚のまわりをすっきりと整えました。元気に登校した児童達の良き憩い場となるでしょう。



有年地区「敬老会感想」

9月17日、西有年地区で敬老会が行われました。

今回の出し物は、フラダンスと新しく沖縄のエイサー。

太鼓のリズムに乗ったエイサーは大変勇壮なもので、荒海に囲まれた沖縄の心を強く感じました。出席された皆さんの血圧も大いに上がったことと思います。次なる往年の美女による、しっとり調のフラダンスで血圧は元に戻ったのではないのでしょうか？

楽しい出し物と、おいしい花卉当の2時間半でした。



西部地区「感謝を込めての敬老会」

西部地区では、9月16日・17日各自治会単位でそれぞれ工夫した敬老会が開催されました。高齢化が進む福浦地区では、福浦本町で97名中38名、福浦新田で107名中39名が参加して開催されました。

福浦新田では式典の後、童謡から始まり出席者の有志によるカラオケ・夫婦デュエット、そして一人芝居等が行われ、会場から大きな拍手が沸き起りました。最後は定番のビンゴゲームが行われ、ビンゴが出るたび歓声が沸き、楽しい一時を過ごされました。お互いに来年の再会を誓い合っふれ合い敬老会を閉じました。



広報部会

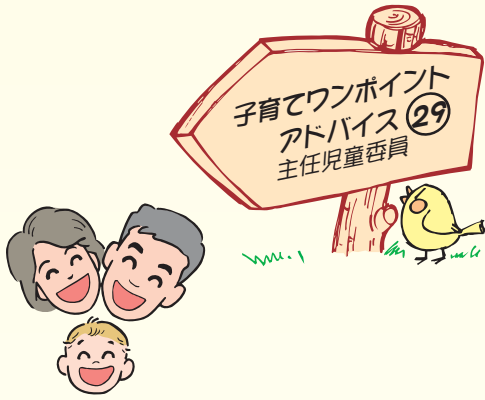
広報部会は9月21日、神戸新聞社の視察研修で新聞製作を学び、「民児協あこう」作りに生かそうと勉強しました。始めに「映像で新聞ができるまで」を視聴し、編集局を見学しました。記者経験者による新聞作り講習では、読みやすくする記事や見出しの考え方などについて説明がありました。事前に赤穂市の民児協あこうを神戸新聞社に送付し、表現内容について具体的に講評を頂き参考になりました。今後は研修したことを参考に、民児協あこうを作成したいと思います。



尾崎地区「地震体験車で震度7を体験」

9月10日、尾崎地区地域福祉推進連絡会会員26名で、兵庫県広域防災センターで地震の体験をしました。震度6弱の揺れは、怖かったですが、次の震度7では、縦揺れ横揺れ、もう生きた心地がしなかったです。本当にこのような地震が来たら、動く事ができず、机の下に入る事すらできないと思いました。説明してくれた方が、「寝室の家具は固定してください。」と力説されました。大阪北部地震では、震度6弱でタンスの下敷きになり、2名の方が亡くなったそうです。朝降っていた雨も昼前には止み、良い体験の研修旅行でした。





「秋、みつけた」

ようやく秋を感じられる季節となりました。朝夕の涼しさ、空の雲の形、風のおい、少しずつ秋へと変化しています。

子ども達は、その変化を素早くキャッチして、大人に伝えてくれます。コスモスや、赤たでのプレゼント。時には、元気なコオロギにあいさつさせてくれたりと、秋見つけ名人です。その素晴らしい発見を、私達大人が、「きれいやね」「かわいいなあ」「鳴き声聞こえたよ」と一緒に感じ喜びたいですね。そして、「お花をありがとう」「見せてくれて、ありがとう」「教えてくれてありがとう」と具体的にお礼の言葉を伝えてみましょう。喜んでくれたと感じた子ども達は、そこから、花で髪を飾ってくれたり、絵本や図鑑で探してみたりと工夫を始めます。その日常の発見や工夫から、子ども達の五感が育ち、その子の興味や得意が伸びていくように思います。

今年の秋も子ども達と一緒に、「秋、みつけた」を楽しみましょう。

児童福祉部会

9月12日、兵庫県立こどもの館、兵庫県警本部の視察研修を行いました。こどもの館は、子ども達があそびや表現活動、図書、工作などを通して、多くの人とのふれあい豊かな個性や温かい心を育み、保護者や子育てを応援する人達をネットワークでつなぎ、相談や、学び、研修する機会と場所を提供しています。

幼い子ども連れの方が、親子遊戯室、木とのふれあいワールドなど、利用されていました。児童彫刻アイデア国際コンクールや月次イベントも多数ありますので、個人、グループでの利用をお勧めします。

兵庫県警では110番を受信する通信指令室、信号機のコントロールセンターを見学しました。交通センターの巨大なモニターに色分けされた、多くのパトカーが活動している様子は、県民の安心、安全を守る頼もしい警察を実感しました。

障がい者福祉部会

年初掲げた活動方針は、研修、各種団体、施設との交流で障がい者福祉の基本を学び、実践に活かすことを目的にした、障がいのある方に繰り返される偏見、差別、虐待をなくし、互いの人格と個性を尊重し合える社会の実現に少しでも寄与することです。

2月の研修「見えにくさを体験しよう」では、視覚障がいの方とサウンドテーブルテニスを体験。5月には第41回赤穂精華園祭に協力団体として有志で参加しました。障がいのある方、保護者、職員の方と共に楽しみふれあいながら理解と親睦を深めることができました。6月の市内研修では、「地域活動支援センター・相談支援事業所さんぼみち」を訪問、障がいのある方が作ってくれた昼食のカレーライスを皆さんと一緒に頂くことができました。

障がいのある方の社会参加を促す法令が多く発せられています。障がい者雇用で省庁の雇用率水増し問題が大きく報道されました。障がい者雇用が早期に改善されることを願いつつ部会活動に邁進します。

老人福祉部会

まず、4月定例会で29年度活動報告と30年度活動計画(案)を、会計報告と予算(案)を含め、部会で話し合いました。その後、6月の部会で市内「マスターズ倶楽部」の施設見学を実施しました。

また、8月30日には市外老人施設の見学として、神戸市の特別養護老人ホーム「駒どりの郷」を見学し、老人施策の研修を25名参加で実施しました。

9月14日、定例民児協で関西福祉大学准教授の一瀬貴子先生をお招きし、老人福祉研修を実施しました。

11月には部会員の親睦を目的にグランドゴルフ大会を実施する予定です。その後、12月定例会で31年度役員選出と承認を計画しています。

編集後記

民生委員児童委員は、高齢者や障がいのある人が楽しく元気で暮らせるように、各地区の行事やさまざま福祉活動を心込めて行っています。

その様子は、市民の皆様にも「民児協あこう」を通してお伝えしていきますので、これからもわかりやすい情報発信ができるように頑張ります。

広報部会